

令和7年10月16日

職員の皆さんへ

令和8年度予算編成にあたって

富田林市長 吉村 善美

支出の予算編成は、収入に見合ったものとするを十分に心がけてください。優先順位や費用対効果を考え、今より改善できる点はないか、新たに取り組むべき事業の財源やマンパワーを生み出せないかの視点を念頭に検討してください。

収益面では、下水道事業の根幹となる下水道使用料及び浄化槽使用料の令和8年度予算額が前年度予算額と比較して約600万円（0.4%）減少する見込みです。費用面では、流域下水道維持管理負担金の令和6年度決算額が、前年度から約2,950万円（4.7%）増加しています。また、近年は能登半島地震や埼玉県八潮市の道路陥没事故など、自然災害やインフラの老朽化による事故が頻発しています。災害に強く持続可能な下水道を築くことの必要性がますます高まってきていることから、補助対象とならない補修工事についても計画的、効率的に進めていく必要があります。さらに、金利の上昇、物価高騰が継続していることも支出を増大させる懸念材料となります。

このように、収益、費用の両面から収支が悪化する傾向が続くことが予想され、今後も厳しい経営状況下にあると認識してください。

以上、令和8年度予算編成の基本方針とします。